

平成15年度継続箇所 再評価結果

事業名	金沢駅北土地地区画整理事業		都市名	石川県金沢市	
施行者	金沢市	施行面積	11.9ha	補助採択	平成5年度
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅東広場 A = 2.7ha ・北陸鉄道浅野川線移設地下化 L = 707m ・金沢駅東通り線 L = 204m、堀川通り線 L = 378m 堀川栗崎線 L = 522m 				
平成5年度事業計画決定 (平成7年度変更)		平成7年仮換地指定		平成6年工事着手	
全体事業費	599億円	補助事業費	534億円	事業進捗率	76.5%
再評価時の費用便益比	B / C	総便益	総費用	基準年	
	1.83	984.55億円 走行時間短縮便益 : 950.82億円 走行費用減少便益 : 34.78億円 交通事故減少便益 : -1.04億円	539.39億円 事業費 : 538.82億円 維持管理費 : 0.57億円	平成15年	
再評価指標項目例					
I - (3) 中心市街地の活性化.....街区の再編、低未利用地の入替、集約 II - (1) 都市圏の交通円滑化の推進.....公共交通機関の利用の促進 II - (2) 地域・都市の基盤の形成.....鉄道新線や新駅整備と一体となった事業 III - (2) 良好な環境の保全・形成.....地区計画等による宅地側の良好な環境の形成					
事業の進捗状況・事業採択時より再評価実施時までの周辺環境の変化等					
既成市街地での土地地区画整理事業であり多数の物件移転や権利調整が必要であると共に、金沢駅という交通拠点機能を確保しながら北陸鉄道浅野川線地下化、駅東広場の整備などの大規模工事を行うことから長期間を要した。					
今後の見通し	既に北陸鉄道浅野川線地下駅、金沢駅東通り線、堀川通り線が供用され、平成16年度の駅東広場供用、平成18年度の事業完了に向け順調に進捗している。駅周辺の一連の都市基盤整備も当事業を残すのみとなっており、必要性は極めて高い。				
対応方針	事業継続				
事業概要図					